

# 「第3回アジア・太平洋水サミット」開催のお知らせ

## SDGs がスタートして初の※、アジア太平洋地域の水に関する首脳級会合

日本水フォーラムが事務局を務めるネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム」は、ミャンマー政府と共催で、「第3回アジア・太平洋水サミット」を下記概要の通り開催します。

「第3回アジア・太平洋水サミット」は、国連持続可能な開発目標（SDGs）が2016年にスタートしてから初の※、アジア太平洋地域において開催される、水に関する首脳級会合です。（※日本水フォーラム調べ）

### 記



3rd Asia-Pacific Water Summit  
Yangon Myanmar 2017

第3回アジア・太平洋水サミット 公式ロゴ

## 1. 第3回アジア・太平洋水サミット 開催概要

日 程：2017年12月11日（月）～12日（火）

場 所：セドナホテル（ヤンゴン、ミャンマー）

主 催：ミャンマー政府 及び アジア・太平洋水フォーラム（APWF）

テ ー マ：Water Security for Sustainable Development  
（持続可能な開発のための水の安全保障）

参加者：アジア太平洋地域の元首・首脳、閣僚、国際機関の代表者、水分野の専門家

目 的：○アジア太平洋地域の持続可能な発展に向けた道筋や取組を、水の観点から示すこと

○統合的水資源管理、パリ協定や仙台防災枠組など国際的に合意された協定の実施に向けて、  
様々な階層での連携や国境を越えた地域間協力を促進すること

ウェブサイト：<http://apwf.org/summit/myanmar2017>

## 2. アジア・太平洋水サミットとは？

開催国と、日本水フォーラムが事務局を務めるネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム（APWF）」が共催する、国際的な水問題に関する首脳級会合。過去2回開催し、特にアジア太平洋地域で大きな課題となっている「水災害」や「都市の水問題」が世界的な優先事項となるよう発信し、SDGsのターゲットとして盛り込まれることに貢献しました。

「第3回アジア・太平洋水サミット」は、SDGsが2016年にスタートしてから初めてこの地域で開催される水サミットです。成長著しく、多くの日本企業も進出しているミャンマーで、水の観点からアジア太平洋地域の持続的な発展を議論します。



前回のアジア・太平洋水サミットの様子

（タイ、チェンマイ、2013年）

以上

## アジア・太平洋水サミットとは

アジア太平洋地域の首脳級の国際会議。この地域の持続可能な発展のために、水問題の解決について話し合い、具体的な行動や地域間協力を促すことを目的として、開催国政府と APWF が共主催する。

### ■開催実績・成果

【第1回アジア・太平洋水サミット（2007年12月3日・4日、日本・大分県別府市）】

- ・テーマ：Water Security: Leadership and Commitment（水の安全保障: リーダーシップと責任）
- ・参加者：日本国皇太子殿下、オランダ皇太子殿下（当時）、首脳級（10名）、大臣級（32名）、ADB 総裁等、合計 371 名
- ・成果：「別府からのメッセージ」の採択。首脳級会合として初めて水災害を優先課題として位置づけ

【第2回アジア・太平洋水サミット（2013年5月19日・20日、タイ・チェンマイ）】

- ・テーマ：Water Security and Water-related Disaster Challenges: Leadership and Commitment（水の安全保障と水災害への挑戦: リーダーシップと責任）
- ・参加者：首脳級 18 カ国、大臣級 16 名等 300 名以上
- ・成果：「チェンマイ宣言」の採択。タイ洪水（2011年）の経験から、災害リスクの低減をポスト MDGs に組み込むことを提言

### ■APWS 対象国

【中央アジア】	アフガニスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン
【北東アジア】	中国、韓国、日本、モンゴル
【東南アジア】	ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、東ティモール、ベトナム
【南アジア】	バングラデシュ、ブータン、インド、ネパール、パキスタン、モルディブ、スリランカ
【オセアニア・太平洋】	オーストラリア、クック諸島、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、ミクロネシア、ナウル、ニウエ、ニューージーランド、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ
【その他】	イラン、イスラエル

### ■第3回アジア・太平洋水サミット 期待される成果

エネルギー、食料、防災など「水の安全保障」の観点から、アジア太平洋地域の持続的な発展を議論し、ヤンゴン宣言（仮称）を採択。その成果を、第8回世界水フォーラムをはじめとする国際社会の議論の場で発信し、SDGs 達成に向けた具体策への貢献を果たす。

## ■アジア・太平洋水フォーラム（Asia-pacific Water Forum: APWF）概要

日本水フォーラムが事務局を務める、アジア太平洋地域の国際ネットワーク組織。

- ・ 設立年：2006（平成 18）年
- ・ 設立趣旨：アジア太平洋地域の声をとりとまとめ、水問題を世界の優先課題とすることを目指す  
また、地域の英知を集結し、課題の解決を目指す
- ・ 設立背景：2006年3月、メキシコで開催された第4回世界水フォーラムにて、故橋本龍太郎（元内閣総理大臣・日本水フォーラム前会長）が設立を宣言。同年9月、フィリピンのアジア開発銀行（ADB）本部にて発足式典を挙行
- ・ 目的：地域の水に関わるさまざまな機関のネットワーク・プラットフォームとなり、アジア・太平洋水サミット等の機会を創出し水問題の解決に貢献する

### ・ APWF 組織構成：

会 長：森喜朗（元内閣総理大臣、日本水フォーラム会長）

議 長：ラビ・ナラヤナン（元ウォーターエイド CEO、日本水フォーラム評議員）

副議長：チャンファ・ウー（元クライメイト・グループ大中華圏代表）

サイモン・テイ（シンガポール国際問題研究所所長）

事務局：日本水フォーラム

ウェブサイト：<http://apwf.org>

メンバー機関：アジア太平洋地域の水に関わる主要機関等（順不同）



APWF ロゴ

アジア開発銀行（ADB）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）、  
国連食糧農業機関（FAO）、シンガポール水事業庁（Singapore PUB）、  
国連人間居住計画（UNHABITAT）、国連教育科学文化機関（UNESCO）、  
水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）、  
国際総合山岳開発センター（ICIMOD）、国際水管理研究所（IWMI）、  
アジア河川流域機関ネットワーク（NARBO）、世界水パートナーシップ本部（GWPO）、  
世界水パートナーシップ（GWP）南アジア、GWP 東南アジア、GWP 中央アジア／コーカサス、国際アルル海  
救済基金執行委員会（EC-IFAS）、韓国水フォーラム（KWF）、  
太平洋共同体（SPC）、オーストラリア水国際水センター（IWC）、  
日本サンエーションコンソーシアム（JSC）、アジア工科大学（AIT）、

## ■日本水フォーラム（Japan Water Forum: JWF）

2003（平成 15）年に琵琶湖・淀川流域で開催された国際会議「第 3 回世界水フォーラム」を契機に設立された特定非営利活動法人（東京都認証、2004（平成 16）年）。国内外の水問題の解決に寄与することを目的とし、すべての人が水に起因する苦しみから解放され、水の恩恵と価値を最大限に享受できる世界の実現を目指す。国内外の多岐にわたる水関係社とのネットワークを活かし、世界各地及び国内において、「政策提言」「草の根活動の支援」「日本の叡智の世界への発信」「人材育成・啓発」に取り組んでいる。